

教科(科目)	国語 (国語総合)	単位数	4単位	学科・学年・コース・組	1年次～
使用教科書	第一学習社 改訂版『新編国語総合』				
副教材等	京都書房『新訂国語図説』・大修館書店『明鏡国語辞典』 ・実教出版『基礎からの漢字学習 (基本編)』				

1 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 指導の重点

- ①文章の読解力を身に付ける。
- ②口語と文語の違いを理解し、平易な古文を読めるようにする。
- ③漢文の訓読方法と決まりを学び、平易な漢文を読めるようにする。

3 学習の計画

学期	単元名	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前期	○ガイダンス	・学習の仕方 (目標・年間計画・評価について)を確認する。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・課題 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・定期考査
	○随想 (1)	・さまざまな事柄に関心を持ち、ものの見方や考え方を広げる。 ・随想を読んで、筆者がどのような事柄に着目し、それについてどのように考えているかを読み取る。	7	
	○小説 (1)	・小説に描かれた話の展開をとらえる。 ・登場人物の心情を表現に即して読み取る。	7	
	○辞典の使い方	・国語辞典と古語辞典の使い方を学ぶ。	1	
	○古文 (1)	・口語と文語の違いを理解する。	7	
	○漢文 (1)	・訓読の方法と決まりを学ぶ。	7	
	○表現の実践 (1)	・よりよい表現方法を学ぶ。	5	
	定期考査①		1	
	○評論 (1)	・筆者の考えや主張を読み取る。	8	
	○小説 (2)	・小説に描かれた話の展開をとらえる。 ・登場人物の心情を表現に即して読み取る。	7	
○古文 (2)	・古典に対する親しみを深める。	6		
○漢文 (2)	・訓読法に慣れ、漢文を読むことに親しむ。	6		
○詩歌	・詩を読み味わう。	6		
定期考査②		1		
後期	○随想 (2)	・さまざまな事柄に関心を持ち、ものの見方や考え方を広げる。 ・随想を読んで、筆者がどのような事柄に着目し、それについてどのように考えているかを読み取る。	7	
	○小説 (3)	・小説を読み、登場人物の心情等を読み取る。 ・主題を的確に捉える。	7	
	○古文 (3)	・古典に対する親しみを深める。	7	
	○漢文 (3)	・訓読法に慣れ、漢文を読むことに親しむ。	7	
	○表現の実践 (2)	・よりよい表現方法を学ぶ。	6	

	定期考査③		1	
○評論 (2)		・筆者の考えや主張を読み取る。	8	
○小説 (4)		・小説を読み、登場人物の心情等を読み取る。	7	
○短歌・俳句		・主題を的確に捉える。		
		・短歌・俳句を鑑賞し味わう。	6	
○古文 (4)		・古典に対する親しみを深める。	7	
○漢文 (4)		・訓読法に慣れ、漢文を読むことに親しむ。	6	
	定期考査④		1	

4 課題・提出物等

・学習プリント (毎時間) ・ファイル (年4回程度) ・各単元で課された課題 ・長期休暇中課題

5 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、・出席 ・授業態度 ・提出物 (プリント・ファイル等) ・定期考査 などから、総合的に評価します。				

6 担当者から一言

国語に関する総合的な科目です。現代文・古典 (古文・漢文) ・表現に関する教材を幅広く取り上げ、文章を正しく理解すること、自分の考えを適切に表現することを学びます。
